

夏の宵を彩る大輪の花

8月16日

寿都漁港納涼花火大会

Kouhou

寿都

-SUTTSU-

9

2026 September

No. 782

みんなの診療所 No.227

病児保育室「なないろ」の 想いを伝えてきました



保育士
佐々木 菜々々



保育士
山田 友美

7月25日に道北の上川町で開催された「上川町病児・病後児保育フォーラム」において、病児保育室なないろの保育士として基調講演を行いました。

上川町は人口約3,000人の寿都町と同規模の自治体で、町内に1か所ずつ町立診療所と認定こども園があります。上川町の施策として、これから病児・病後児保育事業を検討するにあたり、寿都町での先進的な取組を町民や関係者向けに話してもらいたいとのことでお招きいただきました。

講演は「小さな町だからこそできる病児保育～地域で支える子どもと家族の安心」をテーマに、なないろでのこれまでの取組や、診療所と連携した医療と保育、地域で子育てを支える取組など、寿都町ならではの病児保育についてお話ししてきました。



保育をするうえで大切にしていること

なないろで大切にしているのはお子さんが「病気になってつらかった」だけで終わる1日ではなく、「病気だったけれど楽しかった」と思ってもらえる1日にしたいという想いです。

私たち保育士は病気を治すことはできませんが、病気に罹った子どもの不安や寂しさを和らげ、安心して過ごせる時間をつくることはできます。それも病児保育の大切な役割だと思っています。

なないろの強みは、「安心」と「あたたかさ」です。診療所に併設しているので、お子さんの急な体調変化にも医師や看護師とすぐに連携できる安心があります。また、小さな町だからこそ顔の見える関係があり、ご家族やお子さんひとりひとりに寄り添った、家庭のような温かい環境でお預かりできることもなないろの大きな強みです。



講演を通じて感じたこと

参加者からは、「実際の運営状況を知ることができてイメージしやすかった」「保護者支援だけではなく、子どもたちのための病児保育なのだという事に感銘を受けた」などの感想をいただきました。寿都町の病児保育の取組に多くの関心を寄せていただき、私たちにとっても改めて病児保育の役割や大切さを見つめ直す、貴重な機会となりました。

困ったときは一人で抱え込まず「なないろ」へ

病児保育は単にお子さんをお預かりするだけでなく、保護者の皆さんが安心して働き、暮らしていくための「地域の安心」につながる存在です。「子どもが急に発熱したけれど仕事を休めない」「病み上がりでまだ体力が戻っていない」など、困ったときには一人で抱え込まず、なないろを頼ってください。

これからも診療所スタッフ一丸となって、子どもたちの健やかな成長と、ご家族が安心して子育てできる毎日を支えてまいります。

●病児保育の利用についてお気軽に問合せください●

病児保育室なないろ（寿都診療所併設） 電話 070-8718-6386

開室日 月～金曜日（土日祝、年末年始は休業） 開室時間 8:00～17:30



赤ちゃんから お年寄りまで

寿都町教育委員会

電話 0136-62-2100

FAX 0136-62-2280

みんなが、学びの主人公

カクジュウ佐藤家 一般公開

8月8・9日の2日間、カクジュウ佐藤家の一般公開を行い、道内外から約150名の方が来観されました。

今回は史跡内にある佐藤家の邸内社（神社）を初めて公開したほか、6月に開催した文化財ピカピカ大作戦で掃除したお猪口やお椀などを展示しました。

今年も1日2回実施した解説に多くの方が参加し、学芸員の解説を聞きながら主屋の各部屋を巡りました。見学に訪れた方たちからは「前を通るたびに気になっていたので、見学できてよかった」「去年も来て素晴らしかったのでまた来た。今後も定期的に公開してほしい」などの声がありました。

今後もイベント事業と合わせるなど、公開の機会を積極的に企画していく予定です。



どんな生き物がとれたかな？ 「博士たちと！いそあそび」を 開催しました！

8月1日、北海道技術士会エンジョイサイエンス研究会の方々を講師に招き、「博士たちと！いそあそび」を矢追町の滝ノ澗にて開催しました。



海に入った児童たちは、講師から生き物の生息場所や捕まえ方のコツを熱心に教わり、目を輝かせながら磯を駆け回りました。15センチほどの大きな魚を見事に捕まえた児童は、「友達よりも大きな魚をつかまえることができて、とてもうれしかった」と満面の笑みで喜びを語っていました。

最後に、全員で捕まえた小魚やカニなど10種類以上の生き物を水槽に入れ、それぞれの特徴をじっくり観察しながら種類を特定しました。

参加した子どもたちからは、「生きたカニや魚を初めて自分で捕まえられてうれしかった」、「海が



冷たくて気持ちよかった」といった感想が寄せられ、自然の豊かさを体感する貴重な一日となりました。

歴史探訪ツアー「風土記～風と土地の記憶～」を開催します

10月3日（土）に歴史探訪ツアーを開催します。今回は永きに亘り寿都に暮らす人々の生活文化に寄り添い、時には厳しい試練を与えた「風」がテーマです。

時化から鯨や漁師を守る「袋澗」がある本美谷漁港や強く吹く風を鎮めるため風の神様が祀られた祠がある浜中など。古くから「寿都だし」（だし風）や「やませ」と呼ばれる風と共に歩んできた寿都の「風にまつわる場所」をバスで巡ります。

足場が悪い場所にも行きますので、参加される際には動きやすい服装や運動靴でお越しください。



集合場所：総合文化センター ロビー

日 程：10月3日（土）

※雨天時は一部内容を変更

時 間：午後1時から

参 加 費：無料

定 員：20名（先着順）

申込締切：9月24日（木）

問合せ先：文化推進係

本年度最後！ 第32回ライダーズミーティング in寿都が開催されました

交通安全意識の高揚とライダー同士の交流を深めることを目的とした「ライダーズミーティングin寿都」が8月2日に開催されました。

ライダーズミーティングin寿都は1998年から開催され、今年で32回目を迎えましたが、惜しくも本年をもって最後となりました。

1日の前夜祭では、昨年初開催となったモトジム北海道の皆さんによるジムカーナのイベント交流会が風太公園駐車場で実施されました。（ジムカーナはオートバイの運転技術の向上を目的としており、スラロームなどをしながらゴールまでの速さを競う競技です。）イベント後、ゆべつのゆ横の東屋でバーベキューを行い、寿都産の海産物を堪能しました。

2日には全国各地から、52台のオートバイが風太公園駐車場に集まり、町長からの開会宣言の後、寿都警察署員から悲惨なバイク事故の発生状況が伝えられ、これからも安全運転を心がけてとのメッセージが送られスタートを切りました。寿都漁港横の「みなと広場」を目指したパレードでは、沿道へ向け交通安全を呼びかけました。

参加者からは、今年で最後となる開催について惜しむ声が聞かれ、過去の思い出を語り合い幕を閉じました。



歌棄巖島神社例大祭(8/2)



寿都保育園夏祭り(8/7)



お盆のイベント 大盛況でした!

8月15日に寿都のまちと寺社の未来を考える会が主催する「お寺de盆踊り2026」が開催されました。4回目の開催となった今回は、法界寺境内が会場となり、町内外から多くの方が来場されました。夏の風物詩「盆踊り」はもちろん、恒例となった「仮装盆踊り」には一般の部、子どもの部合わせて16組が参加し、趣向を凝らした仮装で大いに盛り上がりました。町内有志による露店やキッチンカーも集結し、子どもから大人まで楽しむ姿が見られました。



夏の夜空を彩ったビアガーデン&花火大会

8月1日に寿都観光物産協会の主催で、7日と16日には寿都商工会青年部の主催でビアガーデンがみなとま〜れ前広場にて開催されました。会場では冷たいビールや屋台のグルメのほか、町内飲食店による自慢の一品などが提供され、町内外からの来場者で賑わいました。

16日には寿都漁港納涼花火大会も開催され、約2200発の花火が夏の夜空を彩り、お盆を締めくくりました。



自然体験キャンプで寿都の自然を堪能しました

8月4日・5日の2日間、小学4から6年生の児童を対象とした自然体験キャンプを開催しました。共同生活を通して、自主性や協調性を身に付けることを目的に教育委員会が主催し実施しており、寿都小学校から8名、潮路小学校から5名の児童が参加しました。

1日目は、生き物や植物を観察しながら磯谷高原へ登りました。間近に見える大きな風車や頂上から寿都湾を一望できる景色に児童は「疲れたけれど、来てよかった」との声が聞こえました。そのあと、活性化センターへ移動し、夕食のカレー作りに挑戦。学校の授業で習った包丁の使い方を思い出して、けがをすることなくおいしいカレーを作ることができました。夕食後はお待ちかねの花火で夏を謳歌し、ゆべつのゆでさっぱりしてから、眠りにつきました。

2日目は前野商店の前野さんご夫婦にご協力をいただき、生のたこを茹で、さばいてたこ焼きを作りました。児童同士で互いに協力し合い、楽しく談笑しながら調理を行いました。

児童たちは、自然を味わいながら、たくさんの経験をし、心に残る夏を過ごせたのではないのでしょうか。



各大会に参加された皆さんお疲れ様でした

■寿都中学校中体連（ソフトテニス）

- 6月24日・25日（会場：小樽市からまつ公園）
小樽後志中体連ソフトテニス大会
女子団体戦：石澤・蛭名・菅原・宮下・鳥居・五味 準優勝
- 7月31日（会場：苫小牧市緑ヶ丘公園庭球場）
第47回北海道中学校ソフトテニス大会
女子ダブルス：石澤・蛭名ペア 三回戦敗退 ベスト16
菅原・宮下ペア 一回戦敗退

中学校最後の全道中体連でした。
最後まであきらめず楽しくプレイすることができ、中学校生活での
良い思い出になりました。
応援ありがとうございました。



左から、石澤鈴来さん（3年）
蛭名陽菜さん（3年）、
菅原綺乃さん（3年）、
宮下紗季さん（3年）

■寿都中学校中体連（水泳）

- 7月25日・26日（会場：函館市民プール）
第47回北海道中学校水泳大会
女子50m自由形：山本 予選敗退
女子100m平泳ぎ：山本 予選敗退

自由形と平泳ぎに出場し、最後の中体連（水泳種目が廃止）、悔い
なく泳ぐことができました。辛い練習を共に乗り越え、当日も応援し
てくれた仲間が存在が何よりも力になりました。指導してくださった
コーチや家族には心から感謝しています。ありがとうございました。



山本実和さん（2年）

■寿都中学校中体連（陸上）

- 7月26日～29日（会場：旭川市花咲スポーツ公園陸上競技場）
第57回北海道中学校陸上大会
男子4×100mリレー：輪島・村岡・木田・千葉（小樽A.J.C）
45.75秒 一回戦敗退

旭川で行われた全道中体連陸上競技大会に出場してきました。チー
ム一丸となりベストタイムではありましたが、壁は厚く、決勝へ駒を
進めることはできませんでした。仲間と戦った日々は素晴らしい経験
となりました。シーズンはまだ続くので、より良い結果を残せるよう
に頑張ります。



右から2番目、千葉蓮絆さん（3年）

■寿都中学校中体連（卓球）

- 8月5日～7日（会場：札幌市北ガスアリーナ札幌46）
第56回北海道中学校卓球大会
男子シングルス：一戸 一回戦敗退

目標だった全道大会の舞台で、全力で戦うことができました。この
大会を通して、とても良い経験ができたと感じています。支えてくれ
た家族やコーチ、チームの仲間、応援してくれた皆さんに心から感謝
したいです。



一戸奏斗さん（3年）

■寿都ソフトテニスクラブ

- 7月11日・12日（会場：宮城県仙台市総合運動公園庭球場）
第16回東日本小学生ソフトテニス大会
女子団体戦：北海道 対 千葉県A 1-2 一回戦敗退
女子ダブルス：石澤・山田ペア
リーグ内2位 2位トーナメント 一回戦敗退

負けてしまったけど次につながる良い経験ができました。
次の全国大会に向けて練習頑張ります。
応援ありがとうございました。



前、山田優衣さん（6年）、
後、石澤奏奈さん（6年）

■寿都高校バドミントン部

- 8月13日～16日（会場：札幌市北ガスアリーナ札幌46）
第79回北海道バドミントン選手権大会
男子シングルス：福井 一回戦敗退
女子シングルス：川岸（奏） 一回戦敗退
女子ダブルス：川岸（奏）・川岸（凜）ペア 一回戦敗退

全道の舞台で1つでも多く勝てるように日々努力し、全力で頑張ります。



左から、川岸奏さん（1年）、
福井蒼空さん（1年）、
川岸凜さん（2年）

とれたて「風太くん」ニュース

～Vol.104～

今月のニュースは、イベントの開催情報についてお届けします。

イベント情報

「寿都港・秋の浜直市&軽トラ市」開催のお知らせ

今年5月末に「寿都港・浜直市&軽トラ市」が開催されましたが、秋のグルメイベントとして「寿都港・秋の浜直市&軽トラ市」の開催が決定しました！

当日はイベント限定グルメや新鮮な魚介類、産直野菜など、本町の秋の味覚が勢ぞろいします。ぜひ皆さまのご来場をお待ちしております！

【寿都港・浜直市&軽トラ市】

- ・開催日時 10月4日（日）
午前9時から午後1時30分
- ・開催会場 寿都漁港特設会場（すつつ浜直市場周辺）
- ・問合せ先 寿都商工会 0136-62-2185
寿都町役場産業振興課 0136-62-2602



今年5月開催の様子



人口 2,460人 (+1) 世帯数 1,487世帯 (+4)
男 1,231人 (-1) 女 1,229人 (+2)
(令和8年7月末現在住民基本台帳)

～ごめいふくを お祈りします～

新栄町 紙谷 豊さん (8/2) 85歳
開進町 古澤 克明さん (8/19) 66歳
新栄町 上谷 禎子さん (8/24) 94歳

ご寄附ありがとうございました

山下 慎一 様 (神奈川県)
寿都町字開進町 181番1の宅地
636.15㎡

福原 紀生 様 (大阪府)
寿都町字磯谷町鯨取潤 668番地26の原野
892㎡

秋サケ密漁防止月間です

例年、この時期になると秋さけが来遊期を迎え、関係機関の努力にもかかわらず、依然として密漁が発生している状況です。

このため北海道では、9月1日から10月31日までの2か月間を「秋さけ密漁防止月間」と定め、密漁防止のため啓発活動を行うとともに、取締機関や民間団体などと連携しながら、巡回パトロールや指導取締りなどの活動を行っています。

秋さけ資源の保護と密漁の撲滅に向けた取組にご協力とご理解をお願いします。



9月1日～10月31日は行政相談月間です

～国の行政などに関する相談をお寄せください～

◇このような相談はありませんか？

- ・道路がでこぼこで通行に支障がある
- ・児童扶養手当の受給資格について教えてほしい
- ・登記や年金について聞きたいことがある
- ・手続や申請をどこにしたらよいのかわからないので教えてほしい
- ・離職票を会社に発行してもらえないので、発行できるようにしてほしい

◇特設行政相談所の開設

- ・日時 10月21日(水) 午後1時30分～3時30分
- ・場所 総合文化センター1階 健康管理室

※相談は行政相談所以外でも受け付けています。

行政相談委員は、あなたと行政を結ぶパイプ役です。住民の皆さんからの行政に対する苦情や意見・要望などの相談に応じます。

毎月、総合文化センターで「定例行政相談」も開設しており、相談は無料で秘密は厳守します。困ったら一人で悩まず、お気軽にご相談ください。

行政相談委員

成田 幸隆さん

湯別町上湯別

電話 0136-64-5533



短歌

莫塵ひろげ孫ひき連れて大花火

歓声今も聞こえる夕べ

石橋 典子

北国の夏の短し生れ里

初夏の風の香るけるかも

中村 昭風

古里へ娘の家族と墓参り

実家片付けの妹も共に

志田 妙子

(老人クラブ短歌)

寺通り賑やか通り盆踊り

聴こえし唄は北海盆唄

佐藤 幸男

風呂入り昼食たべて昼寝する

はまなす会にて至福のわたし

石井 宏子

俳句

孫の水うけてほんのり風仙花

一湾に漁火少し秋探し

石橋 典子

夫退院息子の缶ビールひと息に

志田 妙子

秋岬遠きに白き核の町

遠藤 紀子

(老人クラブ俳句)

墓参り話消される蟬しぐれ

佐藤 幸男



ふる里文芸